

研究だより

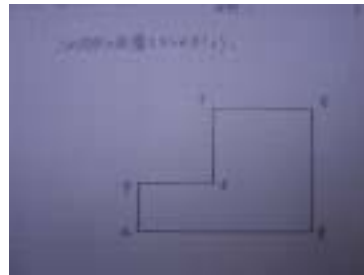
平成15年度学校教育改善研究事業(2年次)後期の研究に向けて

1 学習意欲を育てる「授業と家庭学習のリンク」の事例

4年算数単元「面積」 面積のもとめ方のくふう

(1) 算数的活動を積極的に取り入れた問題解決的な学習の推進

既習事項を想起し、学習問題に意欲的に取り組むとともに、自分の考えをノートに書くことができる子ども。



辺の長さを測ってみよう

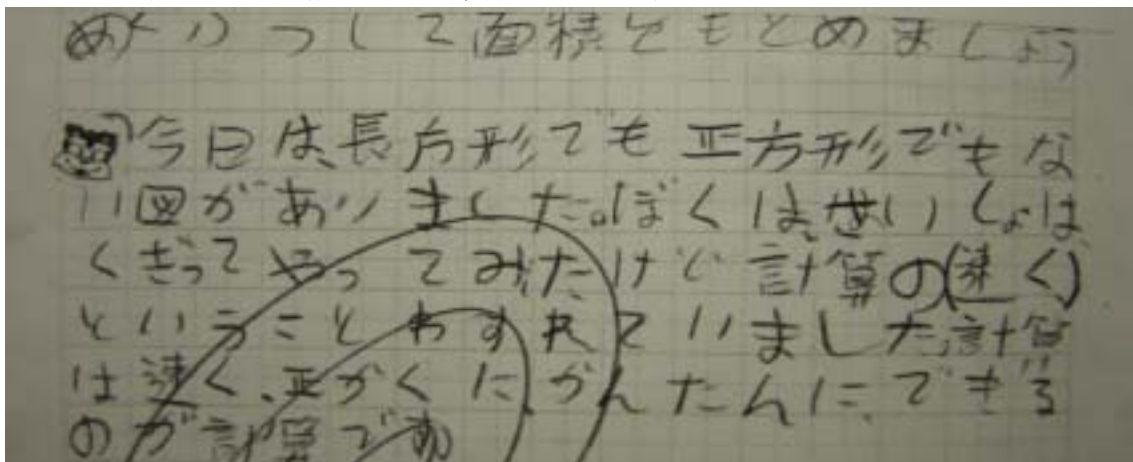
〔既習事項の想起〕

長方形の面積の公式を使えば解けそう。

2つの長方形に分けるとできそう。

個の考えを練り合い、高め合う場面では、「速く・正確に・簡潔に」という数学的な思考でよりよい解決の方法を見つけることができる子ども。

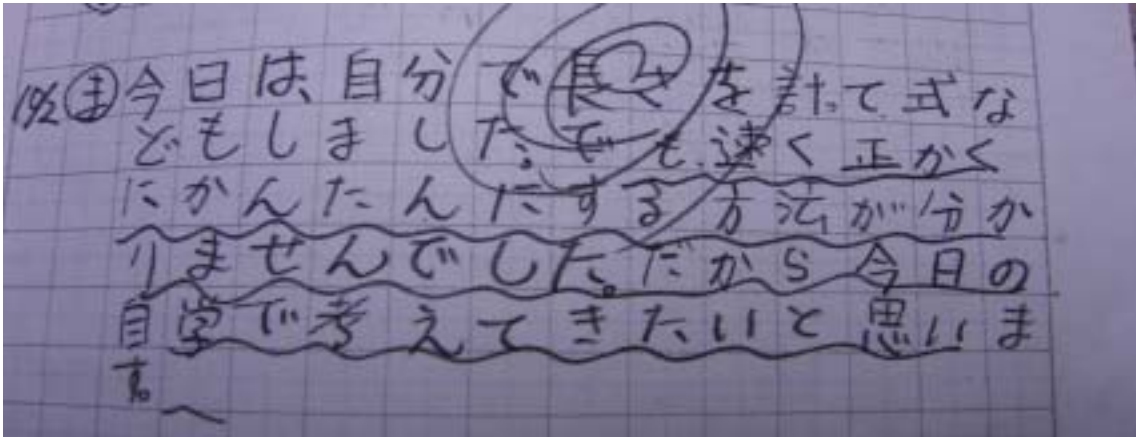
〔「速く・正確に・簡潔に」という数学的な思考力の育成〕



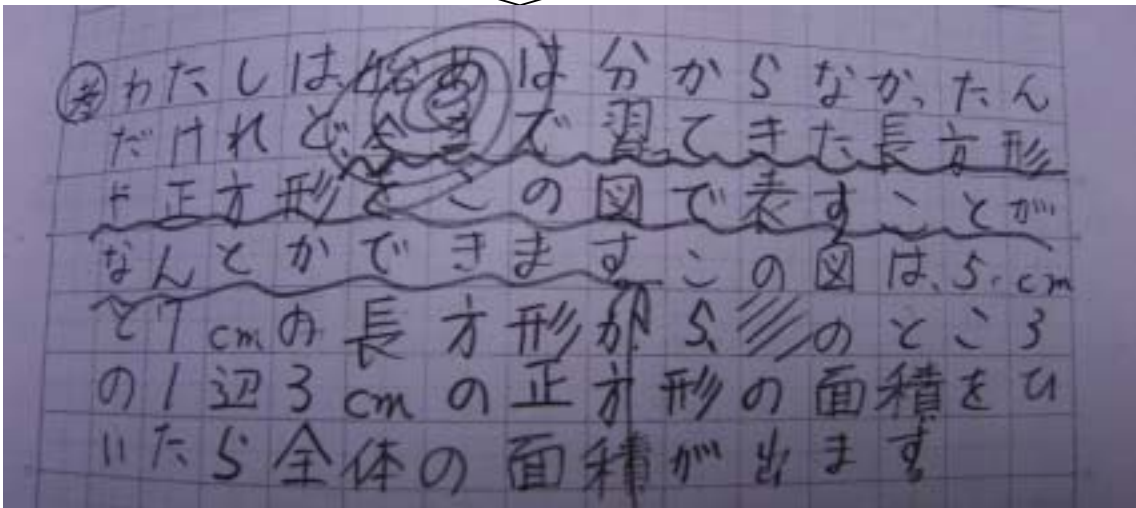
(2) 授業と家庭学習をつなぐ終末時の活動の工夫

本時のまとめを自分のことばでノートに書くとともに、「今日は、こんな自学をするんだ。」という家庭学習のめあてを明確にできる子ども。

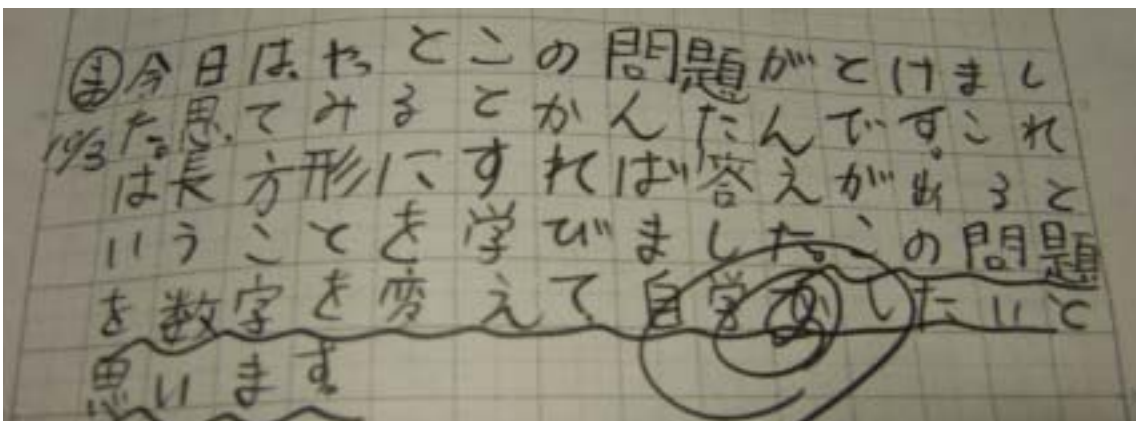
〔授業のまとめのノート〕



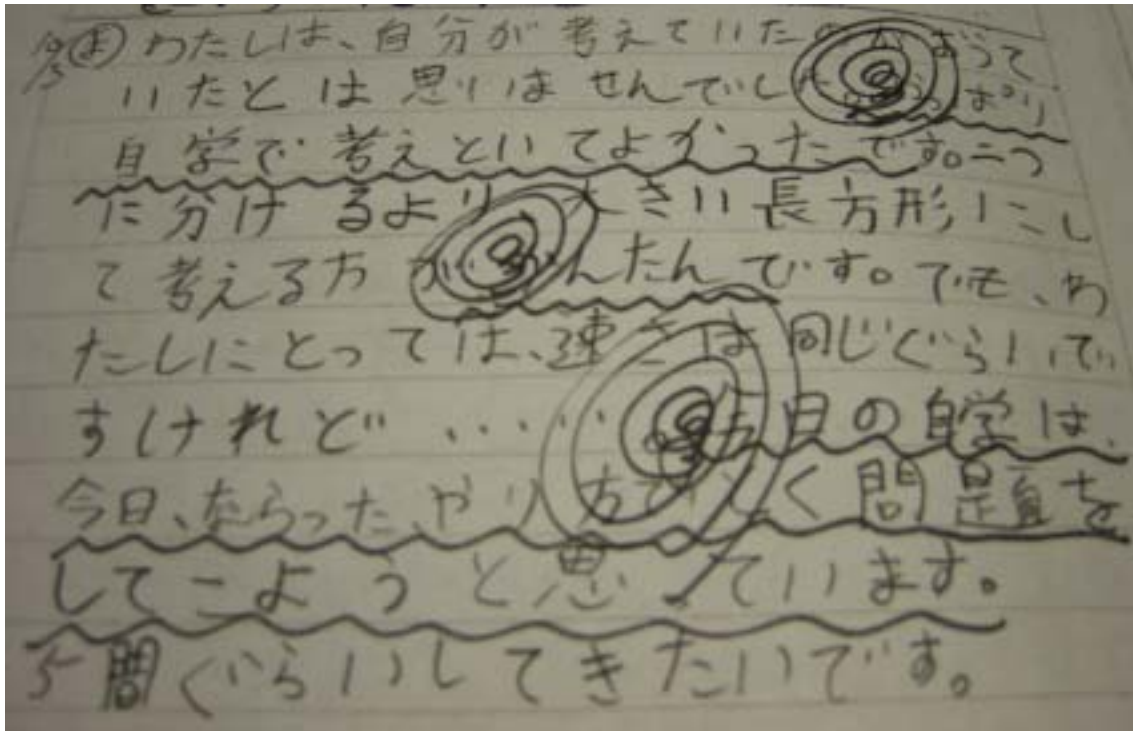
〔自学ノート〕



〔自学をしてきた翌日の授業後のノート〕



〔自学をしてきた翌日の授業後のノート〕



〔考察〕

小単元「面積のもとめ方のくふう」でL字型の面積をくふうして求める学習をした。



第1時では、23名中、「けい子」の考え12名、「ひろし」の考えで3名の児童が正答。「かずお」の考えは0名であった。残り8名は2つの長方形に分けようとしていたが正答には至らなかった。そこで、第1時では、2つの長方形に分けて求める方法を確認し、家庭学習で、まだ他に方法はないかを考えることを示唆した。

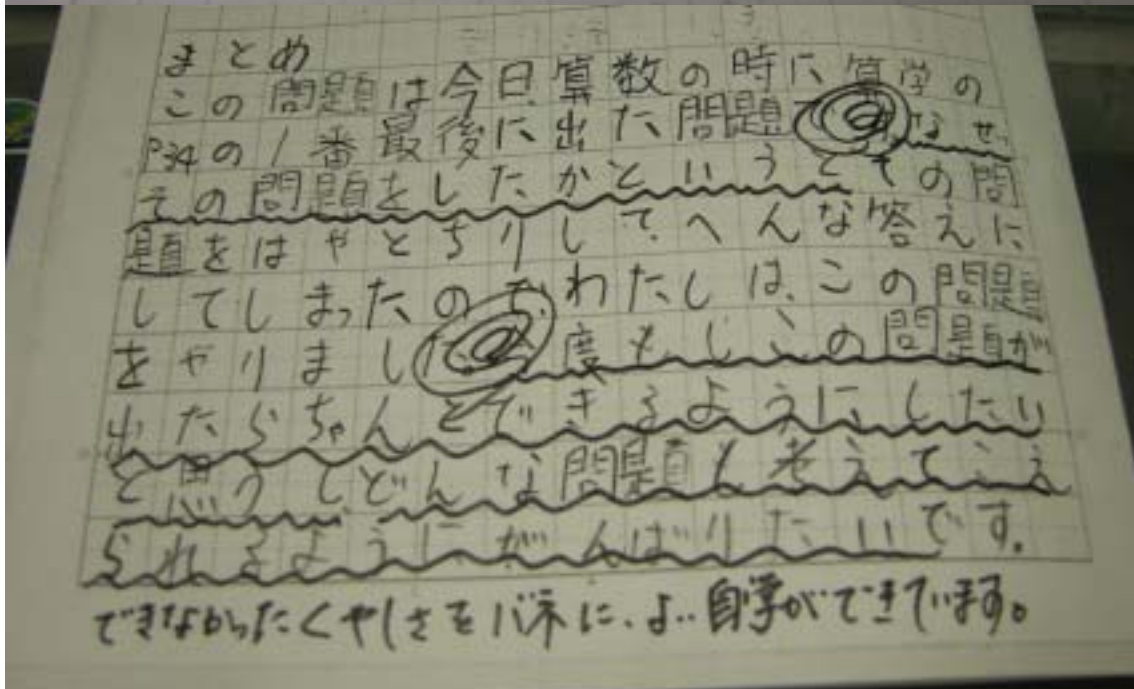
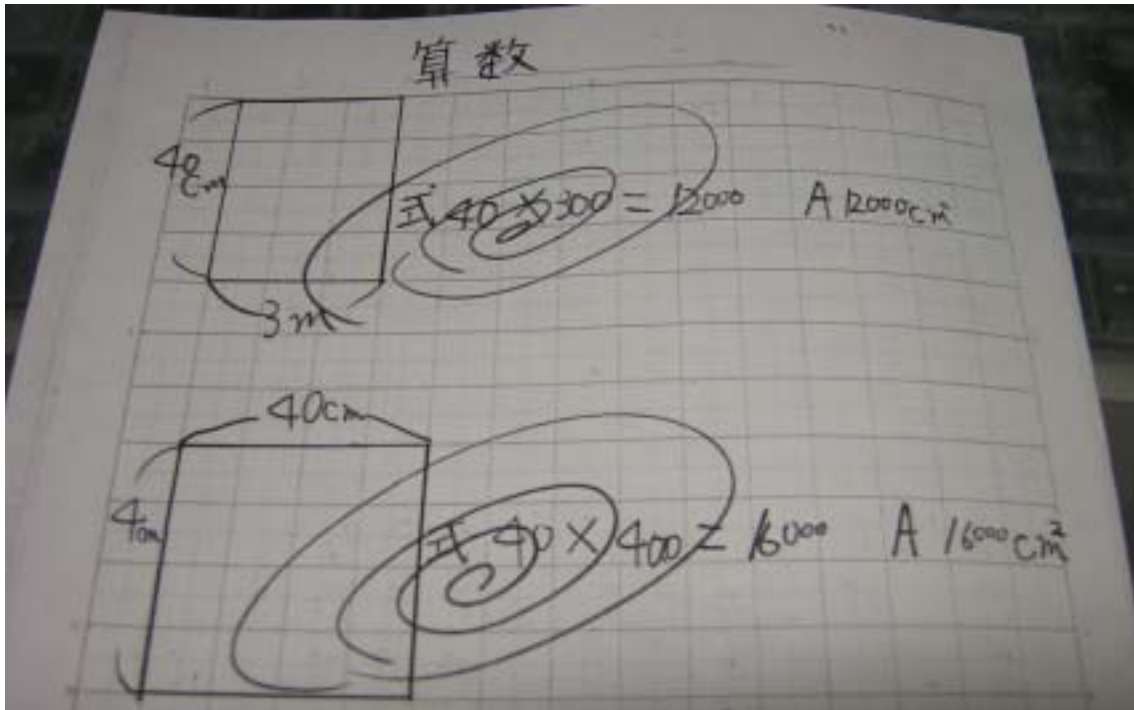
翌朝、自学ノートを点検すると、4名の児童が「かずお」の考えで解いてきた。第2時では、第1時と同様のプリントを配布し、昨日と別の考え方で解かせた。すると、4名プラス数名の児童が「かずお」の考えで解いた。その後の話し合いで、ほぼ全員の児童が「かずお」のもとめ方のよさを理解し、練習問題に意欲的にこのやり方で取り組んだ。

4名の児童が、自分の考えを書く場面や話し合いの場面で大変意欲的に学習したことは言うに及ばない。

間違えた悔しさをバネにして自学した事例

算数の学習の問題：たて90cm、横2mの長方形の土地の面積

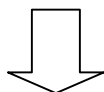
誤答 $90 \times 2 = 180$ 180 km^2



面積の学習について自己評価し、意欲的に自学に取り組もうとした事例

今日の授業の学習問題：町や県のような広い土地の面積をもとめよう。

問題：南北4 km、東西2 kmの長方形の形をした町の面積をもとめよう。



①材料は、今日、学校で、なら、で
事をおもいだして、トムを使、大問
題をしてみました。自分、考え
るのは、け、こーかすかしいんが
と、思いました。面積は、なん
か、めんめんがの、み
したか、こりの二さゆ、
す、なので、えさきせりか
けたら、 こんな、自学を
した。自分に見ゆて、この
か、真鍮、

面積

①の1
 $5 \times 2 = 10$
A 10 km² 自己問題として
や、か、か、か、
ふ、...

②の2
 $4 \times 2 = 8$
A 8 km²

③の3
 $6 \times 2 = 12$
A 12 km²